

2017 年度 環境科学部 相互国際交流プログラム 体験記

環境科学部サマースクールに参加して

国際環境エキスパートセミナー参加、環境科学部 1 年生(研修時)

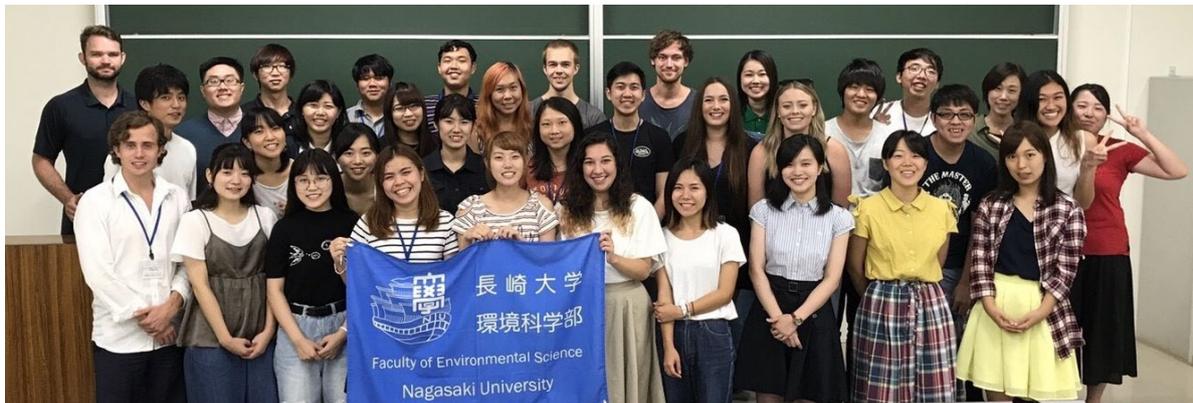
AHさん

サマースクールでは英語での授業を受けました。普段日本語で受けている授業を英語で受けるのはとても新鮮でした。専門的な内容も、英語だから分からないということはありませんでした。先生が分かりやすい英語で説明してくれたり、図や絵を見てなんとなく理解したり、良い経験になりました。英語の授業はリスニングの勉強や新しい語彙の勉強にもなりました。フィールド研修では、企業見学や長崎の歴史を学ぶ施設に行きました。海外の学生は私たちより歴史にとっても興味を持っていました。意見交換をする中で、物事を多角的に見ることができました。

国際環境エキスパートセミナー参加、環境科学部 1 年生(研修時)

AFさん

サマースクールを通して私は将来の選択肢を増やせたと思います。普段日本での当たり前の生活を続けていたら全く知らなかった、他国の食文化や、肌の色、時間に対する考え方に気づくことができました。それらは私にとって新鮮で刺激的なことで、全く違う環境に身を置いて、こうした日本との違いを肌で感じたいという気持ちが強くなりました。さらにもっと留学生と文化の違いについて共有したいと思ったのですが、英語で自分の気持ちを伝えるのにかなり苦労しもどかしい気持ちになりました。この悔しさが英語の勉強や、今後の自分の将来について考えるモチベーションにつながりました。留学生と過ごした二週間は私の人生において貴重で、とても有意義な時間でした。本当に参加してよかったと思います。



サマースクールのグループワーク成果発表終了後の記念撮影

海外短期派遣プログラムに参加して

ハワイ派遣、環境科学部 1 年生(研修時)

NC さん

今回ハワイの研修に参加して、ハワイの文化や人々の暮らしから、ハワイで起きている環境問題について、学ぶことができました。一番印象深かったのは土壌流出の問題です。ハワイでは、香材が大量に伐採・輸出した歴史があり、裸になった大地に外来種のユーカリの木を植林しました。しかし、このユーカリの木の葉には毒性があり、ハワイに従来の原生林に多大な影響を与え、土壌流出を引き起こしています。この土壌流出を、防ぐために石や、枯れ木、落ち葉を使って堤防を作るという活動を行いました。自分で自ら体験することによって、気づくことや感じることもあり、とても有意義な時間を過ごすことができました。



アメリカ・ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ:短期派遣プログラム修了式

タイ派遣、環境科学部 2 年生(研修時)

YH さん

このプログラムへは、自分の英語力の向上、そしてタイの環境問題について学ぶことを目的として行きました。当初は、慣れない土地や自身の英語力で不安を感じての渡航でしたが、滞在日数が長くなるにつれてタイの方々の人柄や、文化に大変魅了されました。授業では、フィールドワークが多くあり、その際、取り上げている事例に関して日本の現状を聞かれ、積極的に英語で発言する姿勢が身に付きました。また、最後のプレゼンテーションでは発表に至るまでの過程において、現地の学生から学ぶことも多く、大変貴重な経験をしました。この経験を通して自身の視野が今まで以上に広がったので、ぜひその経験を後輩の方々にも味わって欲しいです。



タイ・マヒドン大学:短期派遣プログラム野外フィールド研修

オーストラリア派遣、環境科学部 3 年生 (研修時)

MF さん

とにかく海外に行きたいという気持ちで、私は今回の海外短期派遣プログラムに参加しました。フィールドワーク中心のプログラムだったので、オーストラリアの大自然を満喫しながら、充実した日々を送ることができました。私は英語が得意ではないですが、理解できなければできるだけ聞く、またはボディランゲージでコミュニケーションをとることで、言葉の壁を乗り越えていきました。今回のプログラムは、新鮮で刺激的あり、自分の視野を広げてくれる絶好の機会だったと思います。貴重な経験をさせていただいたことに、心から感謝しています。

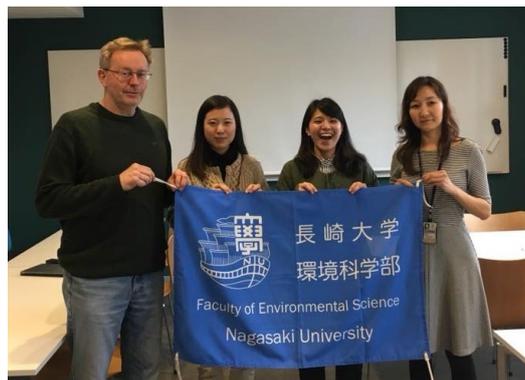


オーストラリア・ディーキン大学: 短期派遣プログラム野外フィールド研修

スウェーデン派遣、環境科学部 4 年生 (研修時)

YS さん

スウェーデンは、自然と人がうまく共生している世界でした。私が滞在した日は日光が少ない時期でしたが、晴れた日は公園で雪遊びをする家族で溢れ、街中にはいたるところにリサイクルショップ。生徒はマイカップを持参するなど、自然が与えてくれる恵みをうまく循環させていました。家ではカーテンは使わず、夜はキャンドルや豆電球の明かりで過ごし太陽と共に起床する。特別なことではないけれど、私たちが学んだ環境に対する意識を彼らは行動に移していて、だからこそ自然環境に寄り添った生活がありました。そんな理想的な環境下で勉強できたことは、私の学びに対する意識をも変えました。ルンド大学のプログラムは他の国のものに比べ施設見学や特別な授業があるわけではないので、自らが学ぶ意欲を持たなければなりません。しかしそれはマイナスではなく、環境科学を学ぶ私たちであれば自然と積極的になれる環境がルンド大学を含め、スウェーデンにはあります。きっと今やっている勉強が、どれほど大切で、必要なことか自信がつくでしょう。ルンド大学の先生のサポートも手厚く、温厚な人ばかりなので、このプログラムを考えている人は安心して色々吸収してきてください。



スウェーデン・ルンド大学: 短期派遣プログラム開校式